



半田南ロータリークラブ

●創立: 1980.2.12 ●認証: 1980.2.25

■会長/山本 慎治 ■幹事/蛭川 勝己 ■例会/毎週火曜日 半田商工会議所
愛知県半田市銀座本町1の1の1(半田商工会議所内) TEL.(0569)21-0324 FAX.(0569)23-4546

2018-2019

夜間同伴例会

於: まるは食堂 りんくう常滑店

- 司 会 S.A.A 蛭川 勝己君
- ソングリーダー 蛭川 勝己君
- ロータリーソング 「我等の生業」
「手に手つないで」
- ゲスト 米山奨学生 スレイン チャンディーさん
米山奨学生 ダブラトブ ハサンさん

会長挨拶 会長 山本 慎治君
挨拶文はホームページの会報で閲覧できます。

- 出席委員会
第1865回例会 5月21日(火) 天気(晴)
本日の例会は30名の出席にて、出席率は81.08%です。
なお、前々回は5名のメーキャップにて100%に訂正します。

●Smiling Box

- 加藤 金吉君 女房の誕生日祝いありがとう。家族全員がいただきました。森島さん、ようこそお出掛け頂きありがとう。皆様が目標としています。いつまでも、いつまでもよろしく。
- 近藤 敏通君 結婚祝いのきれいな花が届きました。ありがとうございます。今日孫が産院から帰ってきました。もう一つ小さな花が咲きました。
- 石川 信行君 本日私の妻、八重子が姉の病気の為、急に欠席になりました。事務局の山崎さんに御迷惑をかけました。
- 間瀬 正君 皆さん米山奨学生ダブラトブ、ハサン、ヌリライヨヴィッチ君をよろしく願いいたします。なお、お酒は飲めませんのでよろしく。
- 石川 勝彦君 半田青年会議所創立55周年記念コンペで優勝しました。盾と副賞を頂きました。腕は落ちても運は残っていました。
- 山本 育輝君 5月19日(日)プリランテ、コンチェルト無事大盛況に終える事ができました。来場して下さいました方々に感謝します。
- 山本 慎治君 今年度も残り1ヶ月です。会員の皆さんご家族の皆さん大変ありがとうございます。心より感謝いたします。
- 蛭川 勝己君 本日は夜間同伴例会です。楽しんで頂ければ幸いです。
- 間瀬 貴裕君 20年目の結婚記念日を無事に迎える事ができました。これもロータリークラブのおかげだと思います。今後ともがんばります。

◎お世話になります。

- | | | |
|--------|--------|--------|
| 森島 昭二君 | 小栗 雅彦君 | 加藤 金吉君 |
| 都築 延男君 | 永田 明世君 | 近藤 敏通君 |
| 石川 信行君 | 間瀬 正君 | 竹内 俊郎君 |
| 石川 勝彦君 | 榊原 肇君 | 榊原 邦彦君 |
| 都築 利全君 | 岡戸 利直君 | 山本 育輝君 |
| 鈴木 宏司君 | 山本 慎治君 | 榊原 英君 |

- | | | |
|--------|--------|---------|
| 手島 嘉宏君 | 蛭川 勝己君 | 河合 英樹君 |
| 榊原 和久君 | 古田 明典君 | 松島 知幸君 |
| 山北 正義君 | 伊藤 亜樹君 | 芳賀 康宜君 |
| 前田 晃教君 | 間瀬 貴裕君 | 戸田 孝士君 |
| 合計30名 | | 48,000円 |



次回の例会

第1867回例会 「商工会議所の活動について」
6月4日(火) 於: 半田商工会議所

2019/05/21

第39回 会長挨拶

今年度も、残すところ後1か月余りになりました。
本日の例会は、今年度を振り返り会員の皆さん、そして
家族の皆さんに感謝の気持ちを込めて
家族同伴例会とさせて頂きました。
本日は、「令和」元年の記念すべき第一回の夜間例会となりました。

さて令和元年を迎え、
気持ちが良いニュースを紹介したいと思います。

「お金の入ったかばんを電車に忘れてしまつて」。
若い声なれば、典型的なニセ電話による詐欺を疑うべきだろう。
子や孫への愛情が、悪用されているいやな世の中である。

困っている若者に接しても、高倉健さんの歌ではないが、「義理と人情」ならば、
「詐欺の恐れと人情」とを天秤にかけて行動しなければならない時代のようなのだ。
そんな世の中に気持ちのいい風が吹いて、なお余韻が残っている。

沖縄のモノレールの駅で4月下旬、埼玉県から来ていた68歳の男性医師が
見ず知らずの男子高校生に6万円を渡した話だ。
うなだれているのを見て声をかけると、財布をなくしたのだと言ったそうだ。
伯父の葬儀で与那国島を目指していた高校生は救われた。

地元紙によると、医師も一瞬、そう疑ったが、母親の出身地で自身や
子どもも住んだことがある沖縄に恩返しをしたい思いがあったそうだ。

勤務先でも「先生、だまされていますよ」と言われたらしい。
名前など聞いていなかった高校生が地元紙を通じて、
探していることを知った。泣けてきたのだという。
助けた方であるが、高校生の正直と沖縄の人のやさしさが分かったと
感謝の言葉を連ねている。

変な天秤を気にしないと生きていけない世の中だが、
人情はまだ重いと教わったようだ。

(令和元年05月21日中日新聞朝刊「中日春秋」より)

如何でしょうか、令和元年にふさわしい出来事だったと思います。

ここに改めて、会員そしてご家族の皆さんに心より感謝御礼もうし上げます。
ありがとうございました。